



システム設定

- システム設定 (1 ページ)
- システム エイリアスとバナー (1 ページ)
- ログイン試行回数とロックアウト時間 (2 ページ)

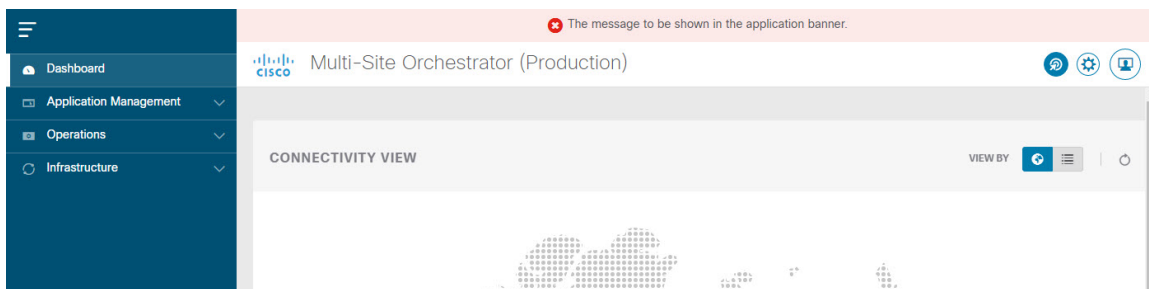
システム設定

次のセクションで説明するように、Multi-Site Orchestrator に対して設定できる、**管理 > システム設定**で使用可能なグローバルシステム設定が多数あります。

システム エイリアスとバナー

このセクションでは、Nexus Dashboard Orchestrator のエイリアスを設定する方法と、次の図に示すように、GUI全体で画面の上部に表示されるカスタムのバナーを有効にする方法について説明します。

図 1: システム バナーの表示



手順

ステップ 1 Orchestrator にログインします。

ステップ 2 左側のナビゲーション ペインから**[管理 (Admin)] > [システム設定 (System Configuration)]** を選択します。 .

ステップ3 **[編集 (Edit)]** のアイコンをクリックします。これは**[システムエイリアスとバナー System Alias & Banners]** 領域の右にあります。

[システムエイリアスとバナー System & Banners] の設定ウィンドウが表示されます。

ステップ4 **[エイリアス (Alias)]** フィールドで、システムのエイリアスを指定します。

ステップ5 GUI バナーを有効にするかどうかを選択します。

ステップ6 バナーを有効にする場合には、バナーに表示されるメッセージを指定する必要があります。

ステップ7 バナーを有効にする場合には、バナーのシビラティ（重大度）を意味する色を選択する必要があります。

ステップ8 **[保存 (Save)]** をクリックして、変更内容を保存します。

ログイン試行回数とロックアウト時間

Orchestratorがログイン試行を連続して失敗したことが検出されると、そのユーザは、不正アクセスを防ぐために、システムからロックアウトされます。ログイン試行が失敗した場合の処理方法は設定できます。たとえば、何回失敗するとロックアウトされるか、およびロックアウトの長さなどがあります。



(注) この機能は、リリース 2.2(1) 以降を最初にインストールしたとき、アップグレードしたときにデフォルトで有効になります。

手順

ステップ1 Orchestrator にログインします。

ステップ2 左側のナビゲーションペインから**[管理 (Admin)]** > **[システム設定 (System Configuration)]** を選択します。

ステップ3 **[試行の失敗&ロックアウト時間 (Fail Attempts & Lockout Time)]** エリアの右側にある **[編集 (Edit)]** アイコンをクリックします。

これにより、**[試行の失敗&ロックアウト時間 (Fail Attempts & Lockout Time)]** 設定ウィンドウが表示されます。

ステップ4 **[試行の失敗の設定 (Fail Attempts Settings)]** ドロップダウンから、ユーザが何回試行に失敗するとロックアウトされるかを選択します。

ステップ5 **[ロックアウト時間 (分) (Lockout Time (Minutes))]** ドロップダウンから、ロックアウトの長さを選択します。

これは、トリガーされた後の、基本的なロックアウト期間を指定します。このタイマーは、さらにログイン試行が連続して失敗するたびに、3 ずつ延長されます。

ステップ6 **[保存 (Save)]** をクリックして、変更内容を保存します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。